

ハイリスク妊娠について

メインチェック項目：1 つでも該当すれば当院でのご予約はお受けできません。

- いたご、みつごなどの多胎妊娠
- 3 回以上の帝王切開の経験がある
- 精神疾患の既往がある方で、症状が落ちついていない
- 心療内科、精神科の受診歴、または心療カウンセリングなどの受診歴があり、病名が不明、または現在も症状がある
- てんかんなどの脳の疾患の既往がある
- 原因不明で意識消失したことがある
- 閉塞性緑内障を診断されている（開放性は除く）
- 医学的に必要と思われる輸血・その他の処置ができない
- 非妊時 BMI【体格指数：妊娠前の体重÷身長（m）÷身長（m）】が日本肥満学会の肥満度判定基準で BMI：30 以上の方（肥満度 2 度以上）
あなたの初期 BMI は です

サブチェック項目：複数項目該当する場合にはご予約をお受けできない場合がありますので診療時にご相談ください。

- 心臓病、糖尿病、腎疾患、肝炎、自己免疫疾患の合併がある
受診前にかかりつけ医にご相談ください
可能であれば詳細について分かるものをご持参ください（紹介状、検査データ等）
- 精神疾患の既往はあるが、現在は薬剤の内服もなく落ち着いている
- 早産のリスクがある（例：前回妊娠中に長期の入院を伴う切迫早産の既往、低出生体重児の既往、早産の既往、重症妊娠高血圧腎症の既往がある、円錐切除後である）
- 大きな子宮筋腫（妊娠初期に、おおよそ 5 cm 以上）がある、または多発の子宮筋腫がある（妊娠初期に、3 cm 以上が 3 個以上）
- 過去の帝王切開術時や分娩時において大量出血を起こしたことがある
- 重症のアレルギー疾患やアナフィラキシーショックの既往がある（例：SLE、関節リウマチ、重症の気管支喘息などのアレルギー疾患、重篤な薬剤アレルギーをお持ちの方、重篤な食物アレルギーをお持ちの方など）
- 妊娠中に喫煙を止められない
- 血液が固まりやすい病気で、抗凝固療法が必要である

受診後チェック項目：診察開始後に判断する項目

以下のような場合には、診察結果によっては高次医療施設へご紹介させていただく場合があります。

また、診療中に必要と判断した場合は心療内科、精神科、または心療カウンセリングなどを受けていただく場合があります。ご了承ください。

精神的な面で医療介入が適切だと判断される場合

大量出血の可能性がある（前置胎盤、低置胎盤、前置血管が認められる方）

血小板数が 10 万を下回る

出生後に新生児の治療、または検査が必要になる方（例：早産の場合や胎児の成長がゆっくりで出生体重が 2300g を越えないと予想される方など）

胎児発育不全 FGR（-1.5SD 値以下）の場合

1 週間以上の切迫早産入院（36 週までにお産になる可能性がある場合）

妊娠中の体重コントロールが難しく BMI 30 を超えた場合

特に妊娠初診時の BMI 25（肥満度 1 度）以上の方は、妊婦健診中の体重増加には十分な注意をお願いします。

★BMI 30 になる体重の目安【体格指数：妊娠前の体重÷身長（m）÷身長（m）】

$$\boxed{} \text{ kg} = 30 \times \text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)}$$

★無痛分娩を御希望されて受診される患者様へ★

★以下の場合には無痛分娩が出来ない場合がございますので事前にご了承ください。

非妊時の BMI：25 以上

妊娠発覚時に 43 歳を超える

気道確保に影響する合併症がある：口や顎の形態も影響します

脊椎超音波検査で脊椎までの距離が 50mm 以上

脊椎に疾患がある

硬膜外麻酔使用時は、呼吸に影響を与える場合がまれにあり、その場合には気管内挿管などの気道確保が必要であり、気管内挿管が困難と予想される場合には無痛分娩をお受けできない場合があります。

また、脊椎に疾患のある方や肥満傾向の方は硬膜外麻酔そのものが困難な場合があります。申し訳ありませんがご理解下さいますようお願いいたします。